

びるめん ニュース あいち

Vol.321

2016 / 1



一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会

Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報委員会

E-mail aichibm@ilac.ocn.ne.jp / URL <http://www.aichi-bma.jp>

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

今月の視点

新年挨拶

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会
会長

加藤 憲司

新年、明けましておめでとうございます。

日頃ご指導いただいております関係官庁、関係の各団体、そして会員の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで、清々しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年、当協会は皆さまのご支援をいただき、念願であった青年部を立ち上げることができました。会員皆さま方のご理解により、チャーターメンバー25名というスタートが切れましたこと、心より感謝申し上げます。青年部の皆さまには、当協会の活動にもご意見をいただき、協会活動がより活性化することを期待しております。

さて、本年の業界を取り巻く環境を考えますと、やはり最低賃金の大幅アップの影響や、メンタルヘルス対策として、全社員に対するストレスチェックの義務化をはじめ、労働法制の改定、社会保険制度の改定が続き、人の雇用に関する費用負担がますます厳しくなっていきます。また、ここ数年来の人材不足により、採用コストはますます増大してきています。

一方、現在名古屋駅前を中心に超高層ビルの竣工が続いていますが、この流れはさらに周辺にも波及し、建替えなどにより、ビルはますます大型化・高度化していきます。われわれビルメンテナンスにおいても、新たな技術・ノウハ

ウが必要になってきます。

こうしたことから、2016年(平成28年)は、まさに改革をしていく年であると思います。私の信念の一つは、「過去の延長線上に未来はない」ということでもあります。過去はこんな考え、こんな技術力でよかったことが、環境の変化により、通用しなくなる。それに気づかずにいると、取り残されてしまうということです。

協会活動も同じです。当協会は創立50年を超えています。この長い伝統の中で、良いものは継承発展させ、時代の変化とともに変えていかねばならないものは、勇気をもって変えていくことが必要です。その結果として、当協会がますます発展し、会員数も増加

していくと信じております。私自身この一年、こうした改革に取り組んでいく所存であります。

会員の皆さまにおかれましても、昨年以上に各委員会活動に積極的にご参画いただき、協会全体を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

この一年が皆さまにとりましてより良い年でありますことを心より祈念申しあげて、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて

愛知県知事

大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、輝かしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、リニア中央新幹線、燃料電池自動車FCV、国産初のジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き出した年でした。中でも、11月の県営名古屋空港におけるMRJの初飛行は、半世紀ぶりとなる国産旅客機の量産という夢を乗せた飛行であり、当地域の航空宇宙産業の発展に大きな弾みとなるものと大変嬉しく思っています。

日本の中心に位置する愛知県は、日本一のTechnology (技術) と Tradition (伝統) を誇る我が国の産業の中心地、まさに“Heart” of JAPANです。今年は、この愛知の強みをさらに進化させる年にしたいと思います。

2027年度のリニア開業を前に、名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・道路など社会基盤の整備を着実に進め、世界に発信する「中京大都市圏」づくりに取り組むとともに、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、さらにはTPP協定の発効も見据えた農林水産業の振興などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

そのためには、「人財力」の強化も重要です。4月開校の県立愛知総合工科高校を核に次代のモノづくりを担う人材の育成に取り組むほか、女性の活躍促進、高齢者や障害のある方々への支援の充実など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらには、福祉・医療の充実、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」に向けた取組、スポーツ大会や国際会議の積極的な誘致などとともに、地方分権や行財政改革の推進、東三河県庁を核とする地域振興にも力を注いでまいります。

さて、今年5月には三重県で伊勢志摩サミットが開催されます。愛知は、そのゲートウェイとして関係者の受入れに万全を期することはもちろん、これを好機と捉え、産業観光や武将観光、日本一の山車からくりなど、愛知の魅力をしっかりとPRしてまいります。

そして、8月からは、あいちトリエンナーレ、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と、大規模な文化行事を連続して開催する「芸術・アート」の年でもあります。多様な魅力のあふれる文化芸術作品をお楽しみいただきたいと思います。

こうした取組を通じ、愛知の総合力を一段と高め、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成28年元旦

“日本一 魅力ある都市 ナゴヤへ”

名古屋市長

河村 たかし



あけましておめでとうございます。

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本は人口減少社会の局面に入り、減少に歯止めをかける子育て支援の充実や訪れたい都市魅力の向上など、都市間競争がより顕著になっていると感じております。

2020年には東京オリンピックの開催、2027年にはリニア中央新幹線の開業を控え、ますます東京一極集中が進むなかにあって、逆スロー現象を起こすべく更なる努力が不可欠だと考えております。

子育て支援においては、2年連続ゼロを達成した待機児童対策や常勤の専門カウンセラーなどからなる「なごや子ども応援委員会」など、名古屋市は、日本のトップランナーであると自負しております。しかしながら昨年、中学生の男の子がいじめを苦に自殺する痛ましい出来事があり、痛恨の極みです。子どもの悲鳴を見落とさないためにも「なごや子ども応援委員会」の拡充などの対策に今後も心血を注いでまいります。

また、都市魅力の向上においては、なんと言っても名古屋城天守閣。先人が残してくれた正確な実測図もあり、史実に忠実な復元ができる世界唯一の天守閣であります。都市のシンボルとして、みんなでもう400年 (Build the castle, and treasure more 400 years) 大事にしていくことができる名古屋人の心の拠りどころであり、未来の子どもたちへ残すことができる大きな財産であると確信しております。2020年の東京オリンピックがスポーツの祭典なら、名古屋城天守閣は文化の祭典。世界中にアピールし、大勢の人に訪れてもらいたい。

とにかく名古屋駅で一旦下車してもらおう。面白そう、ちょっと遊んでいこうかと思ってもらえる都市魅力の創出が必要です。東京から約40分でつながり、時間的には生活圈と言っても過言ではなくなります。これを強みと捉え、「日本一魅力ある都市ナゴヤ」へ積極的にチャレンジしてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成28年元旦

新春のご挨拶



愛知労働局長
藤澤 勝博

平成28年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

年の初めに当たり、改めて皆様の日頃からの愛知労働局の行政運営に対するご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、愛知の雇用労働の状況と今年1年の所信の一端を述べさせていただきます。

昨年は、10月に12年ぶりとなる全国産業安全衛生大会が、愛知において開催されました。県内外から1万2,000人を超える多くの方が参加され、安全衛生に関する様々な取組みや情報が紹介されるとともに、安全衛生に関わる皆さんの交流が図られ、関係者の皆様のご尽力により成功裏に終わりました。

また、国産小型ジェット旅客機の実用化に向けた初飛行、名古屋駅前開発による高層ビルの完成、近隣である伊勢志摩サミットの開催決定など、この地域に注目が集まるニュースもありました。今年2月には、新東名高速道路の豊田東JCTから浜松いなさJCT間の開通も予定されています。

こうしたニュースと相まって、愛知の有効求人倍率は1.55倍、新規求人倍率も2.29倍と高い水準(平成27年10月現在)となっており、今後中国経済やアジア新興諸国の動向等への注視が必要ですが、愛知の雇用状況は緩やかな改善が続いているところであります。

こうした中でも、本年、更に愛知労働局として取組みを強化していかなければならない課題があります。

まず、第1点目としては、非正規雇用労働者対策です。非正規雇用労働者については、正社員に比べ収入が低く、雇用が不安定な上、能力開発の機会が乏しいなどの問題を抱えており、未婚率も高く、少子化にもつながる重要な問題であると考えています。非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善を進めるため、10月に局内に「愛知正社員転換・待遇改善実現本部」を設置し、12月には労使団体、地方自治体とともに「非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善に向けた関係機関連絡協議会」を開催したところであります。今後も、正社員求人拡大、正社員就職の実現、助成金等を活用した非正規雇用労働者の正社員転換などに力を入れてまいります。

2点目は、「働き方改革」の推進です。愛知は残業時間が全国平均より長く、年次有給休暇の取得率も低い状況にあります。こうしたこれまでの長時間労働を前提とした働き方を見直していく必要があります。昨年夏には、「ゆう活」に積極的に取り組んだ企業も話題になりましたが、働きやすい環境に向けた働き方の見直しにつ

なげるため、引き続き自治体、各種団体と連携を図りながら、「働き方改革」に向けた気運の醸成を図ります。更に過重労働防止対策についても同時に取組み、長時間労働に係る法令違反を繰り返す等、悪質な事例に対しては、厳正に対処していきます。

3点目としては、女性の活躍推進です。女性の就労状況についても、愛知は全国に比べ、子育て期の女性の就業率が低く、女性管理職の割合が低い状況にあります。こうした状況の中、自らの意思によって職業生活を営もうとする女性の個性と能力が十分に発揮されることが一層重要となっています。昨年8月に成立した「女性活躍推進法」は、そういった課題に対応するため301名以上の規模の民間企業に対し、「一般事業主行動計画」の策定等を求めるものです。本年4月の全面施行に向け愛知県をはじめ関係機関と連携し周知に取組んで参ります。

これら以外の課題としても、建設、医療、介護、保育など人手不足の課題が見られる分野では、業界団体のみならず、建設業では発注行政機関等、医療、介護分野においては愛知県とも連携を強化し、雇用管理改善を人材確保に結び付けるような取組みを進めます。

障害者雇用についても、愛知県と連携し、法定雇用率未達成の企業の訪問指導を進めるとともに、事業主に「障害者に対する差別の禁止」「合理的配慮の提供」をもとめる改正障害者雇用促進法の周知を図り、障害者雇用の改善に取り組めます。

昨年12月に施行された「ストレスチェック制度」は、企業の皆様の関心が高く、制度の理解に向けた周知を図ってまいります。更に、昨年9月に成立した法令として、若者雇用促進法、改正労働者派遣法などもあり、円滑な運用に向けて更なる周知を図ってまいります。

愛知労働局は、引き続きすべての労働者の適正な労働環境を確保するとともに、若者、女性、高齢者、障害を持つ方などが、希望する働き方を選択し、能力が発揮できる環境の整備に努めていきます。更に関係機関・団体等と連携し、地域の実情を踏まえた労働行政の推進に全力を注いでいきます。

本年の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

平成28年元旦

新年を迎えて

愛知県健康福祉部
保健医療局長
松本 一年



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日ごろから本県の健康福祉行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、企業収益や雇用・所得環境に改善傾向がみられ、景気については、一部に弱さもみられるものの緩やかな回復基調が続いた年でありました。

とりわけ本県におきましては、基幹産業である自動車産業が米国等での好調な販売により業績が堅調であり、徐々に中小企業にも波及し、着実に回復基調が続いています。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れたまちづくりが進められる中で、名古屋駅周辺の再開発が進み、新たな高層建築物等の建設も進められています。

このような状況の中、建築物における衛生的環境の確保につきましては、より快適な生活環境への社会的ニーズの高まりなど、建築物を利用する人の健康や環境に配慮した衛生管理を推進するため、貴協会の組合員であるビルメンテナンス業者の皆様方の役割がより一層重要なものとなってきます。

本県におきましては、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、建築物の衛生水準の維持、向上に向けて、継続して衛生管理の周知徹底を図ってまいります。

今年、昭和59年から貴協会を含む業界6団体と5つの行政機関で開催しております建築物の環境衛生に係る研究発表等を行う研究集会も、第30回目を迎えますが、関係者の皆様方の建築物環境衛生の知識と技術のさらなる向上が図られるよう引き続き推進してまいります。

貴協会におかれましては、本年も、ビルのメンテナンス業務を通じて、本県の公衆衛生の向上に更なる御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、本年の皆様のお多幸と御健勝を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

新春を迎えて

愛知県警察本部生活安全部長
中村 正孝



新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会の皆様には、旧年中、日々の警備業務を通じまして、犯罪や事故の未然防止に真摯に取り組んでいただき、また、ビルメンテナンス業務を専業とされている会員の皆様にも環境の整備を通じまして、犯罪の起きにくい社会づくりにご協力いただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、愛知県内の犯罪発生状況ですが、刑法犯認知件数は年々減少傾向にあり、ピークの平成15年に比べ半数以下という状況にありますが、事務所荒しや空き巣などの「侵入盗」や「自動車盗」は、昨年に引き続き全国ワースト1位となるなど、県民の皆様のお安全・安心は未だ道半ばという状況にあります。

あわせて、高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの「特殊詐欺」は、一昨年秋から多発傾向にあるため、昨年11月30日から、県内統一キャッチフレーズ「オレは誰?STOP!特殊詐欺」を、自治体や金融機関等と連携しながら、その普及を図り、被害の防止に努めているところであります。

愛知県警察といたしましては、これらの犯罪を抑止し、県民の皆様が「安心」して暮らせる「安全」な愛知を実現するため、地域住民、関係機関・団体等の方々との連携をしながら、これまで以上に地域の犯罪情勢に即した諸活動を、強力で推進してまいり所存であります。

貴協会におかれましては、ビルメンテナンス事業における各種講習会等を通じて、各分野における専門的知識、技能の向上を図り、適正な警備業務を実施していただくとともに、厳しい治安情勢にご理解をいただき、本年も引き続き県民の「安心」・「安全」のためにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

また、本年5月には三重県で伊勢志摩サミットが開催されます。隣県ではありますが、その玄関口は中部国際空港であり、関係者の県内での滞在が予想されます。昨年フランスでのテロ事件は記憶に新しいところですが、県民の皆様が被害に巻き込まれないようにするためにもご協力をお願いしたいと存じます。

最後に、愛知ビルメンテナンス協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

年頭のご挨拶



名古屋市消防長
堀場 和夫

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の新春を健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会員の皆様には、日頃から市民の安心・安全のため献身的にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は9月に台風第18号の影響により関東・東北で記録的な豪雨となり甚大な被害をもたらしました。一昨年の御嶽山噴火も記憶に新しいと思いますが、自然災害は、突発的に発生し、想定外の猛威を振るってきました。このような有事の際、消防としては緊急消防援助隊を編成し対応しておりますが、今まで以上に市民や地域、事業所が連携し、災害に備えていく必要があると改めて認識させられました。

また、あの東日本大震災後、名古屋市では南海トラフで発生する巨大地震として、過去の地震を考慮した最大クラスの地震とあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震の2つの被害想定を一昨年公表しました。市民の命を守り、市民生活への影響を最小限に留めるためには、「自助」「共助」「公助」が連携して、平時から地域防災力をさらに強化していくことが喫緊の課題です。

このことから、『自助力向上の促進事業』として、命を守るため、家具等の転倒・落下防止対策や備蓄品・非常持出品の準備をしていただくことを消防局をあげて啓発しております。併せて、家具固定ができるボランティアを養成し、高齢者や障がい者などのご自宅に派遣し、家具固定を行う事業にも取り組み始めた次第です。

一方、名古屋市における火災件数につきましては、減少の傾向となっておりますが、死者の数は昨年と比べて増加しました。火災による被害の更なる軽減を図るため、一般家庭における住宅用火災警報器の普及啓発や事業所に対する防火防災管理者等の教育などを重点課題と認識し、火災予防の効果的な推進により一層取り組んでいく所存です。

本年も消防・防災行政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会並びに貴会員各位の益々のご発展、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願ひします。



副会長
水藤 維人



副会長
吉田 治伸



理事
本多 清治



理事
勝野 隆



理事
堀口 弘



理事
田中 宏



理事
服部 弘司



理事
福岡 輝道



理事
山口 義浩



理事
新原 正也



理事
酒井 秀京



監事
大澤 隆



監事
加藤 義幸



監事
浜松 靖弘



相談役
武村 節雄



相談役
吉田 銑三

平成27年度労働安全衛生パトロール 実施結果

労働安全衛生委員会

本年度の、以下のとおりパトロールを実施しました。

実施期間 平成27年11月9日(月)～11月17日(火)延べ8日間
実施場所 会員が業務を行っている事業所のうち、清掃管理業務を行っている事業所7か所、施設警備業務を行っている事業所3か所(今年度、設備管理業務を行っている対象事業所はなし。)

パトロール員 労働安全衛生委員会委員14名

実施方法 2名1組で各事業所を訪問し、あらかじめ示した清掃管理業務21項目、施設警備業務23項目について、現地確認を行い5段階評価を行った。(設備管理業務は17項目)

実施結果 各項目を5段階で評価した。
評価3(多少改善点はあるが、改善は容易である。)の項目について以下の改善要請を行った。なお、評価2(改善点が多々ある)以下の項目は無かった。

(1) 清掃管理業務

- ・ポリッシャー等の機械点検の実施
- ・清掃業務に使用の洗濯機のアース取り付け
- ・資機材の管理台帳と機械器具の整備記録の整備(点検は実施されている)
- ・ロッカー等の転倒防止措置
- ・清掃道具の保管場所の検討(外部から見える場所のため侵入が可能となっている)
- ・清掃員が使用する鍵の保管方法(清掃員が持ち帰りしているため紛失のリスク)
- ・文字入れカラーコーン使用の検討(安全対策のため作業範囲のより明確化)

(2) 施設警備業務

- ・空気清浄機の保管場所検討(高い位置からの落下のおそれあり)

評価基準

- 5 非常に良く管理されており他の模範となる
- 4 良く管理されている
- 3 多少改善点はあるが、改善は容易である
- 2 改善点は多々ある
- 1 重大な欠点、管理不足と考えられる

平成27年度 労働安全衛生優秀作品審査結果

労働安全衛生委員会

本年度も、労働災害予防の意識高揚を図り労働災害の防止を目的に「労働安全衛生作品」の募集を行いました。

「ポスター・デザイン」の部に5社11点、「ヒヤリ・ハット」の部に10社91点、「標語」の部に13社161点の応募がありました。

平成27年12月10日(木)13時30分から開催された労働安全衛生委員会において、委員による厳正な審査により、それぞれの優秀作品を決定しました。

平成28年2月10日(水)に名古屋国際会議場で開催される労

働安全衛生大会において表彰式を行い、賞状と記念品を贈呈します。

入賞された皆さん、おめでとうございます。

【ポスター・デザインの部】

- 最優秀賞 進 慶英 (福佳(株))
- 優秀賞 藤原 松代 (ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))
- 優秀賞 栗木 誠也 (大成(株))
- 佳作 原口 しおり (昭和建物管理(株))
- 佳作 河野 末男 (ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))

【ヒヤリ・ハットの部】

- 優秀賞 松浦 春雄 (昭和建物管理(株))
- (6点) 栗田 康二 (ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))
- 谷本 藤男 ((株)ダイケングループ)
- 堤 良和 (管財(株))
- 池村 かずみ (大成(株))
- 麻生 克恵 ((株)トヨタエンタプライズ)

【標語の部】

- 優秀賞 田村 知恵美(管財(株))
- (9点) 「忘れるな 基本動作と危険予知 みんなで築こう安全職場」
- 木村 智恵美(コニックス(株))
- 「“だろろう”より“かもしれない”で危険予知」
- 野村 公彦 (ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))
- 「ひと手間を 惜しむ心が 赤信号」
- 田中 宏紀 (大成(株))
- 「ちょっと待て その判断は 誰基準?」
- 池崎 安 (コニックス(株))
- 「心のゆとり 時間のゆとり 知識のゆとりで安全作業」
- 横地 忠昭 (昭和建物管理(株))
- 「あのヒヤリ 忘れぬうちに 報・連・相」
- 谷口 禮子 (昭和建物管理(株))
- 「ヒヤリで終わったあの経験 今も生かして 安全確保」
- 有島 育子 (昭和建物管理(株))
- 「お互いに 一声かけあう 安全意識」
- 稲垣 由美子(豊興業(株))
- 「やったつもり 見たつもり つもりをもって事故となる」



最優秀賞 進慶英さん 優秀賞 藤原松代さん 優秀賞 栗木誠也さん

こども絵画コンクール 愛知協会長表彰式

全国協会主催の「第9回こども絵画コンクール」に当協会も協賛していますが、応募作品(全国で11,719点)のうち愛知県内からの応募作品335点を対象に愛知協会でも独自に優秀作品を審査のうえ愛知協会会長表彰を行いました。

今回の最優勝賞は、ひらまつ絵画教室(あま市)の近藤静紅さ

ん(6年生)で、平成27年11月28日(土)11時から同絵画教室で表彰式を行い、絵画教室を主宰する平松春夫先生にも立ち合いいただき当協会から山口理事(経営ビジョン委員長)と事務局局長が出向き賞状と記念品が贈られました。

また、同教室から応募いただいた中で銅賞に入選した高野悠翔さん(5年生)、佳作の山田開介さん(4年生)、山田敬太さん(5歳)にも賞状と記念品が贈られました。

なお、同教室からは、全国表彰でも山田はやとさん(4歳)が銅賞を受賞しており、大変な成果を上げておられます。

今後ますますご活躍されることに期待いたします。(10月7日(水)経営ビジョン委員会での審査模様及び入選者は12月号に掲載)



普通救命講習(AED認定コース)開催

平成27年11月25日(水)、12月1日(火)の両日、名古屋市応急手当研修センター(昭和消防署4階)において普通救命講習会を開催しました。

この講習会は ①心肺蘇生の方法 ②AEDの使い方 ③気道異物の除去などセンターの指導員3名により午後1時から5時までの4時間人体モデルとAEDを使用して受講者全員が実際に体験する講習会です。

普段はそれぞれ別々の職場の皆さんがチームとなり連携して繰り返し訓練を受けることができました。

講習会の最後には効果測定試験(実技、筆記)があり受講した41名全員が合格で修了証が交付されました。

こうした訓練は、日常業務の中ではめったに体験できませんので繰り返し行うことが重要です。

今後も毎年継続的に開催する予定です。



貯水槽清掃作業従事者研修

平成27年11月18日(水)午前9時30分から大成(株)研修センターにおいて、貯水槽清掃作業従事者研修が開催されました。建物設備管理委員会の服部弘司委員長のあいさつで開講して98名が以下の講義を受講しました。



	研修科目(内容)	講師
午前	建築物衛生法を中心とした関係法令 ・貯水槽清掃、労働安全衛生、構造基準に関する関係法令 水と健康 ・飲用水と人の健康 ・病原微生物、化学物質と健康影響 ・人体と水 ・飲用水の衛生と管理	大島 渡 氏 元県職員
	給水設備と機器 ・貯水槽の構造 ・関連機器の名称と機能	鈴木 操 氏 (株)川本製作所
午後	貯水槽の消毒方法 ・消毒の意義と定義 ・消毒時の留意点 貯水槽の塗装方法 ・塗装の種類と方法 ・作業の安全対策 作業の安全と衛生 ・衛生的な貯水槽清掃 ・事故防止 ・緊急時の措置 ・作業報告書の作成 ・電気の扱い	山口義浩 氏 三永ビルド(株)
	貯水槽の清掃方法 ・機械器具と取扱い ・作業計画書及び作業の実施 給水設備の維持管理 作業従事者の責任と責務 ・貯水槽清掃の目的 ・マナー	横井 学 氏 東名サニタリー(株)
	効果測定(自己採点によるミニテスト)	

理事会・各種委員会等

◆第9回 理事会

開催日時 平成27年12月11日(金)午後4時～午後5時

開催場所 協会事務局会議室

出席者 加藤会長始め13名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項 ・新年賀詞交歓会について

・当面の諸問題について

報告事項 (委員会報告/全協報告/中部北陸地区本部報告/事務局報告)

開催場所 協会事務局会議室

出席者 田中青年部会長始め6名の出席を得て以下について協議した。

主な審議事項
 ・平成27年度忘年例会(H27.12.17)の開催について(総務交流委員会)
 ・平成27年度見学研修会の開催(H28.2.2)について(事業広報委員会)

◆第2回 労働安全衛生委員会

開催日時 平成27年12月10日(木)午後1時30分～午後3時

開催場所 協会事務局会議室

出席者 堀口委員長始め6名の出席を得て以下について協議

・平成27年度労働安全衛生ノトロール実施結果について
 ・労働安全衛生大会(H28.2.10)の運営について
 ・労働安全衛生作品(ポスター、ヒヤリ・ハット事例、標語)の審査について

◆青年部 第2回役員会

開催日時 平成27年12月15日(水)午後3時30分～午後5時30分

会員の動き

1月1日現在会員数
 普通会員 121社 賛助会員 22社

普通会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
27.12	三和テクノ(株)	登録者	新 本社事業所長 山下 学 旧 本社事業所長 夫馬嘉孝
27.12	日東カस्टディアルサービス(株)	登録者	新 名古屋支店長 安藤裕司 旧 ブロック長 川勝俊邦

平成28年2月の予定

如月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	月	平成27年度ビルクリーニング技能検定(実技)試験(大成研修センター)	16	火	貯水槽清掃作業監督者講習会[新規](大成研修センター)
2	火		17	水	
3	水	第30回愛知県建築物環境衛生管理研究集会(ナディアパーク11階 アートピアホール)	18	木	中部北陸地区本部会議(岐阜)
4	木		19	金	
5	金		20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	月		23	火	
9	火	貯水槽清掃作業監督者再講習会(大成研修センター)	24	水	
10	水		労働安全衛生大会(名古屋国際会議場)	25	
11	木	建国記念日	26	金	
12	金		27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月				

賛助会コーナー

プッシュ式ディスペンサー
MD-450-GL



サイズ: W105×D88×H224mm
 容量 450mL

SARAYA G-line
 Toilet Amenity Series

トイレを快適に使用するためには便座の除菌は欠かせません。専用の薬剤(便座きれいくんV)を入れて使用する。便座クリーナー用ディスペンサーです。専用のカギ付きなので、中の薬剤を盗難やいたずらから守ることができます。

使用薬剤

便座除菌クリーナー

便座きれいくんV

環境清浄でウイルス対策!

原液 便座除菌 液状
 噴射 火気注意



問い合わせ先: サラヤ株式会社 名古屋営業所 公衆衛生部まで tel. 052-322-8655

事務局だより

新年あけましておめでとうございます
 今年もどうぞよろしくお願ひいたします。
 昨年は、理事会、各委員会そして会員の皆様のご尽力により、以前から準備が進められていた「青年部の設立」、社会貢献活動のひととして「障がい者支援特別委員会」を発足して障がい者の雇用促進のための支援活動を開始するなど将来を見据えた新しい協会活動がスタートしました。

また、会員の皆様へのメリットの充実と新規会員入会の促進を図るため、ホームページを全面的にリニューアルすることができました。
 新しいホームページでは、協会事業のご案内や各種情報をタイムリーにお知らせすることができるようになり、また、スマートフォンやタブレット端末にも対応しており何時でも何処でもご覧いただけます。

今年も会員の皆様のさらなるご活躍と協会活動の充実のため事務局も頑張っまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。